

平成 2 3 年度

鏡石町 長寿命化修繕計画

平成 2 4 年 3 月

福 島 県 鏡 石 町

目 次

【様式 1 - 1】

1. 長寿命化修繕計画の目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	1
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	1
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	2
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期	2
6. 長寿命化修繕計画による効果	2
7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	3

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

鏡石町が管理する道路橋は、平成 24 年 3 月現在 27 橋あり、このうち、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は現在 2 橋あり、10 年後には約 30%に達する。20 年後には、この割合が約 80%に達する見込みで、急速に高齢化橋梁が増大する。

鏡石町の管理橋梁は、東北自動車道の跨道橋が 1/3、小規模河川に架かるボックスカルバート橋が約 1/3、その他橋梁が約 1/3 と大別され、重点的に予防保全を行う跨道橋の割合が比較的多く、これらを優先して修繕する必要がある。また、その他橋梁についても農道橋として架けられた橋梁が多く、近隣の福島空港の開港や鏡石スマートICの設置により、交通量が増加したことが損傷の一因となっている。これら損傷が大きい橋梁を優先して修繕する必要がある。

今後、高齢化橋梁の増大に伴い、その修繕や架替えに要する費用の集中が予想され、大きな財政負担が懸念される。そのため、可能な限りのコスト縮減と効率的かつ効果的な維持管理への取り組みが不可欠となっている。

2) 目的

道路交通の安全性を確保する上で、道路管理者は、これまでの事後的な対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一級町道	二級町道	その他	合計
全管理橋梁数	(2) 4	(1) 2	(8) 21	(11) 27
うち計画の対象橋梁数	(2) 4	(1) 2	(8) 21	(11) 27
うちこれまでの計画策定橋梁数	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
うちH23 計画策定橋梁数	(2) 4	(1) 2	(8) 21	(1) 27

上段()は橋長 14.5 m以上の車道橋の数

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、福島県市町村橋梁点検マニュアルに基づいて定期的の実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底する。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指す。

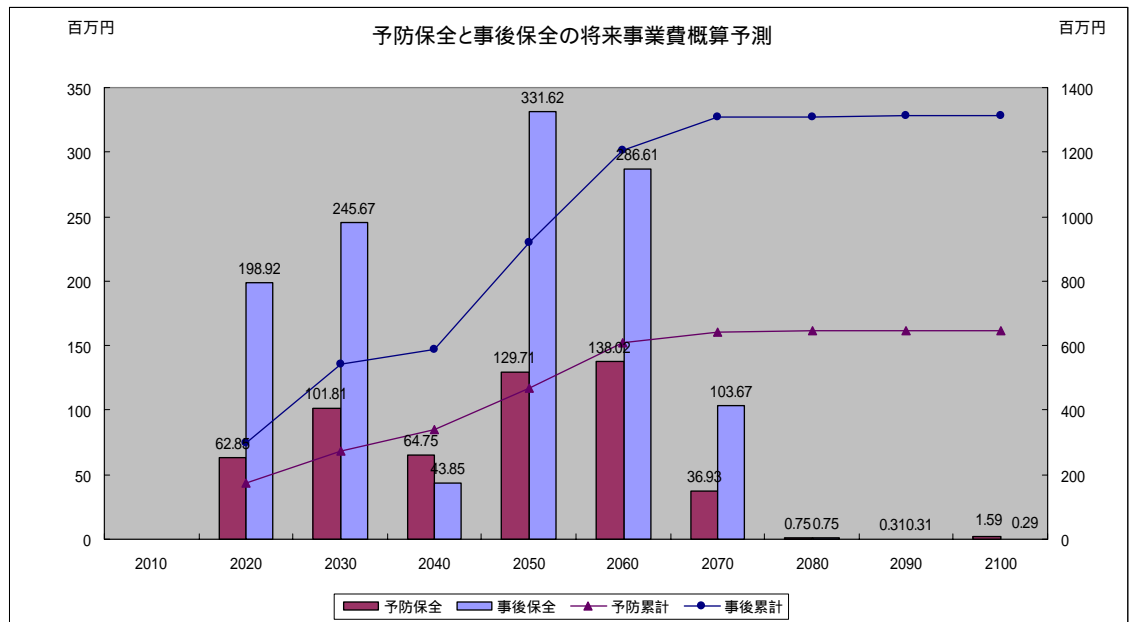
以下は、車道橋 27 橋について、平成 23 年度の点検結果を反映した検討結果を示す。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式 1 - 2 による。

6. 長寿命化修繕計画による効果

修繕及び架替えに要する経費については、今後 90 年間で 13.11 億円 6.47 億円（6.64 億円の縮減）となり、約 5 割強の縮減が見込まれる。



上記経費の算出については、今後、橋梁の定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

福島県岩瀬郡鏡石町 都市建設課 tel 0248-62-2116

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学工学部 教授 岩城 一郎

福島工業高等専門学校 教授 根岸 嘉和

(五十音順)